

「イラクの子供保護を」

【バグダッド23日共同】

国連児童基金(ユニセフ)のベラミー事務局長は二十二日、イラク中部ファルージャの戦闘などに言及、同国内で四月に入つて百二十人以上の子供が殺害されているとして、戦闘などに参加する全勢力に対し、国際人道法に基づき子供と非戦闘員を保護するよう求める声明を発表した。

声明は、今月五日から米軍が大規模な包囲掃討作戦を続けているファルージャで百人以上、二十一日に南部バスラで起きた連続自爆テロでは、幼稚園のスクールバスに乗

4月の死者120人以上

国連

つていた二十人以上の子供が死亡したと指摘。「子供たちは学校に通えないだけでなく、人並みの医療も受けられない状態にある」と非難した。

声明はさらに、急増する暴力で多くの学校が閉鎖を余儀なくされ、閉鎖されなくても多くの親が悪化した治安を恐れて子供を登校させていない実態に言及。「子供たちを戦闘の犠牲にしてはならない」と訴えた。

ファルージャでの米軍の掃討作戦では、地元医師の話として、一週間で女性や子供を含む約六百人が殺害されたという。

「徴兵ノー」 安保理が決議

【ニューヨーク22日共同】もたちが兵士にされている国として、アフガニスは二十二日、子どもたちを兵士に徴用したり性的奴隷にする行為を防止する決議案は人権団体の働き掛けでフランスが提出。決議案は英・北

争地域で続く児童虐待を強く非難。国連に対し、子どもたちを保護し、国際法に違反する行為を監視するための包括的な行動計画を三カ月以内にまとめるよう求めている。

「徴用が懸念される状況にある地域」との文言に修正、両国が受け入れ

書は、一七歳以下の子ど